

9 消防団概要

昭和38年、五市合併による北九州市の発足に伴い、門司消防団、小倉消防団、若松消防団、八幡消防団、戸畑消防団、洞海湾消防団の6団、89分団2,979人となりました。

昭和49年、北九州市の行政区再編成と併せてスタートした「消防団の近代化計画」により、門司消防団、小倉北消防団、小倉南消防団、若松消防団、八幡東消防団、八幡西消防団、戸畑消防団、洞海湾消防団の8団、8本部、69分団、定員2,030人の体制となり現在に至っています。

(1) 消防団の現況

ア 組織等

門 司消防団…1本部…11分団… 7支部	八幡東消防団…1本部… 7分団… 2支部
小倉北消防団…1本部… 9分団… 1支部	八幡西消防団…1本部…12分団… 2支部
小倉南消防団…1本部…14分団…13支部	戸 畑消防団…1本部… 5分団
若 松消防団…1本部… 7分団… 5支部	洞海湾消防団…1本部… 4分団

【第83表】消防団の定員・現員

(令和7年4月1日現在)

区 分	消防団	分団	計	消防団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	8	69	2,030 (1,709)	8 (8)	16 (16)	92 (90)	83 (80)	149 (141)	335 (294)	1,347 (1,080)
門 司	1	11	338 (302)	1 (1)	2 (2)	14 (13)	13 (14)	24 (24)	56 (51)	228 (197)
小 倉 北	1	9	244 (170)	1 (1)	2 (2)	12 (11)	11 (10)	20 (18)	41 (25)	157 (103)
小 倉 南	1	14	452 (393)	1 (1)	2 (2)	17 (17)	16 (14)	30 (28)	74 (69)	312 (262)
若 松	1	7	222 (215)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	9 (9)	16 (16)	38 (37)	146 (140)
八 幡 東	1	7	204 (159)	1 (1)	2 (2)	10 (11)	9 (9)	16 (16)	35 (33)	131 (87)
八 幡 西	1	12	340 (274)	1 (1)	2 (2)	15 (15)	14 (14)	26 (25)	56 (49)	226 (168)
戸 畑	1	5	140 (114)	1 (1)	2 (2)	8 (8)	7 (6)	12 (10)	25 (22)	85 (65)
洞 海 湾	1	4	90 (82)	1 (1)	2 (2)	6 (5)	4 (4)	5 (4)	10 (8)	62 (58)

(注)1 ()内は、現員

2 定員は、北九州市消防団の組織等に関する規則第4条ただし書きの規定により、臨時に定員及び配置を変更した数

【第84表】消防団員の報酬・費用弁償

(令和7年4月1日現在)

年額報酬(年/円)									出勤報酬(出勤1日当り/円)		
消防団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機 関 員	機 関 員 補助者	災害	警戒訓練等	7時間45分を超えたら同額加算
82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	20,000	10,000	8,000	5,000	

【第85表】消防団員の年齢

(令和7年4月1日現在)

区分	平均年齢	計	18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳～ 50歳	51歳～ 55歳	56歳～ 60歳	61歳以上
計	44.1	1,709	36	105	117	171	187	250	278	275	174	116
門 司	43.6	302	5	21	16	44	39	33	50	41	27	26
小倉北	43.5	170	4	13	20	15	11	22	32	24	19	10
小倉南	45.6	393	4	13	23	28	45	71	70	67	57	15
若 松	42.5	215	2	24	15	25	26	25	28	42	16	12
八幡東	44.0	159	12	15	8	10	10	18	27	21	17	21
八幡西	44.2	274	5	15	20	24	32	46	41	49	22	20
戸 畑	43.4	114	4	4	11	11	10	19	17	22	11	5
洞海湾	44.4	82	0	0	4	14	14	16	13	9	5	7

(注)全体の平均年齢は、各消防団の平均年齢から算出

【第86表】消防団員の在職年数

(令和7年4月1日現在)

区分	平均在職年数	計	5年未満	5年～ 9年	10年～ 14年	15年～ 19年	20年～ 24年	25年～ 29年	30年以上
計	13.8	1,709	387	327	308	269	190	103	125
門 司	14.3	302	70	52	49	54	29	18	30
小 倉 北	13.6	170	45	31	24	27	17	13	13
小 倉 南	13.2	393	74	86	85	63	52	15	18
若 松	14.1	215	47	49	38	27	20	19	15
八 幡 東	13.8	159	40	29	29	16	25	9	11
八 幡 西	14.3	274	73	44	46	37	30	18	26
戸 畑	13.1	114	21	20	20	32	9	8	4
洞 海 湾	13.4	82	17	16	17	13	8	3	8

(注)全体の平均在職年数は、各消防団の平均在職年数から算出

イ 施設・機材等

【第87表】消防団施設

(令和7年4月1日現在)

項 目	分 団 本 部	分 団 支 部
施 設 数	65箇所	30箇所
敷地面積（基準）	330㎡	100㎡
建物構造（基準）	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
建物面積（基準）	約100㎡	約35㎡
工 作 物	ホース乾燥台	

【第88表】消防団機材等の配置

(令和7年4月1日現在)

区 分		門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	洞海湾	計
分 団 本 部		11	9	14	7	7	12	5	4	69
分 団 支 部		7	1	13	5	2	2			30
車 両	指 揮 車	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	ポ ン プ 車	11	8	14	7	7	12	5		64
	小型動力ポンプ積載車	7		13	5	2	2			29
	自 走 式 搬 送 車		2							2
そ の 他	消 防 艇								(8)	(8)
	携 帯 無 線 機	12	11	15	8	8	13	6		73
	無 線 受 令 機	19	9	28	13	10	15	6	1	101
ト ラ ン シ ー バ ー		217	151	298	145	127	202	85	10	1,235
発 動 式 発 電 機		26	10	30	13	14	23	6		122
投 光 器		29	16	25	25	12	24	6		137
トランジスタメガホン		22	14	34	11	4	16	10	1	112
強 力 ラ イ ト		75	48	109	42	47	67	28	3	419
警 戒 ロ ー プ		22	22	33	15	8	19	10		129
担 架		34	20	47	22	15	33	10		181
ス コ ッ プ (角)		39	14	35	24	18	28	17		175
ス コ ッ プ (剣)		117	93	232	37	38	131	42		690
つ る は し		15	15	22	7	7	27	7		100
が ん づ め		46	23	71	8	0	64	20		232
ベ ン チ		13	13	17	8	8	37	6		102
金 槌		29	16	41	14	13	37	8		158
掛 矢		29	20	41	14	13	38	11		166
鎌		67	40	90	33	17	64	22		333
鋸		31	21	25	3	6	37	10		133
救 命 胴 衣		194	144	378	184	146	220	85	70	1,421
可 搬 式 散 水 器		67	24	48	27	34	42	0		242
鉈		17	18	30	6	8	31	0		110
リ ュ ッ ク サ ッ ク		28	18	42	0	4	6	0		98
水 筒		51	33	67	5	14	33	0		203
防 塵 メ ガ ネ		211	140	126	134	150	183	28		972
防 塵 マ ス ク		221	203	375	138	145	209	125		1,416
蛍 光 チ ョ ッ キ		49	36	65	30	37	58	27		302
合 図 灯		52	31	98	41	31	61	27		341
40mm ホ ー ス		66	44	94	70	60	76	45		455
50mm ホ ー ス		212	100	303	160	129	206	52		1,162
65mm ホ ー ス		435	268	640	296	282	452	131		2,504
万 能 斧		19	9	24	8	10	17	6		93
ワ イ ヤ ー ロ ー プ		3	6	10	1	6	13	6		45
チ ェ ー ン ソ ー		16	11	21	8	7	21	5		89

(注)1 可搬式散水器・なた・リュックサック・水筒は、管内に山林を擁する分団に配置

2 消防艇の()内は、民間艇

(2) 消防団の活動等

【第89表】消防団員の教育・訓練等実施状況

(令和6年度)

区分	項 目	対 象 者	期間等	人数等	内 容
消防学校	消防大学校消防団長科	副 団 長 以 上	5日間	1	消防団の上級幹部として必要な知識や技術を総合的に習得させ、資質の向上を図る
	県消防学校指揮幹部科分団指揮課程	分団長 副分団長	年1回	7	分団長又は副分団長として必要な知識・技術の習得
	県消防学校指揮幹部科現場指揮課程	部 長	2日間	7	部長として必要な知識・技術の習得
	県消防学校初級幹部科	班 長	2日間	6	指導者として必要な知識・技術の習得
	消防操法研修	未 修 了 の 者	2日間	8	消防ポンプ操法に関する知識の習得
消防局	初任科研修	団 員	年1回	84	団員として必要な基礎知識・技術の習得
	幹部科研修	班 長 以 上	年1回	70	幹部として必要な知識・技術の習得
	女性消防団員研修	女性消防団員	年1回	78	防火・防災に関する各種訓練
	応急手当普及員講習	希 望 す る 消 防 団 員	3日間	12	応急手当普及員の資格取得
	署・団連携消防活動実戦訓練	指 定 分 団	平日夜間	全分団	建物密集地での火災を想定した実戦訓練
	後期警防技術錬成会	指 定 分 団	年1回	7分団	建物火災を想定した実戦訓練
各署・各団	警防技術訓練	全 消 防 団 員	随時	全消防団員	消防団員として必要な警防技術の習得
	機関員訓練	機 関 員 及 び 機 関 員 補 助 者	随時	300人程度	機関員として必要な技術の習得
	人権研修	全 消 防 団 員	年2回	全消防団員	人権研修等
	安全運転管理者研修	副 団 長	年1回	7	安全運転管理者講習
	他都市視察研修	分 団 長 以 上	年1回	69	他都市の消防団運営状況視察
	年間計画に基づく訓練	全 消 防 団 員	随時	全消防団員	各消防団で計画を立て規律訓練、放水訓練等を実施
市消防協会	消防協会研修	全 消 防 団 員	年1回	377	消防協会主催による消防団員研修
	他都市視察研修	消 防 団 長	年1回	7	他都市の消防団情勢の視察
その他	定期健康診断	農 業 ・ 漁 業 等 自 営 業 者	年1回	333	消防団員の健康管理と疾病による公務災害の未然防止を図る

【第90表】消防団に対する表彰

(令和6年度)

表 彰 区 分	内 容	計
叙 勲	瑞 宝 単 光 章	5人
褒 章	藍 綬 褒 章	1人
北 九 州 市 長 表 彰	優 良 表 彰 (退 職 消 防 団 員)	38人
福 岡 県 知 事 表 彰	永 年 勤 続	39人
消 防 長 表 彰	優 良 表 彰	11人
消 防 団 長 表 彰	優 良 表 彰	25人
福岡県消防協会会長表彰	優 良 消 防 分 団 (竿 頭 綬)	2分団
	優 良 消 防 団 員	70人
	永 年 勤 続 45 年 以 上	1人
	永 年 勤 続 40 年 以 上	4人
	永 年 勤 続 35 年 以 上	7人
	永 年 勤 続 30 年 以 上	17人
	永 年 勤 続 25 年 以 上	23人
	永 年 勤 続 20 年 以 上	43人
	永 年 勤 続 15 年 以 上	67人
	永 年 勤 続 10 年 以 上	48人
	親 子 ・ 兄 弟 消 防 団 員	13組
北九州市消防協会会長表彰	優 良 消 防 団 (分 団)	4分団
	優 良 団 員	36人
	優 良 団 員 (ポ ン プ 操 法 出 場 者)	49人
消 防 庁 長 官 表 彰	永 年 勤 続 功 労 章	8人
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	功 績 章	3人
	精 績 章	4人
	勤 続 章	16人
合 計	6分団・13組・515人	

【第91表】消防団員の活動実績

(令和6年度)

項 目	合 計	災害活動	年末警戒・祭礼等警戒活動	訓練・研修・予防広報活動
延べ出動人員	23,044人	3,598人	4,071人	15,375人
消防団員1人当たりの 出 動 回 数	13.5回	2.1回	2.4回	9.0回

(注) 「消防団員1人当たりの出動回数」は、令和7年4月1日現在の現員(1,709人)を用いて算出

【第92表】消防団員の公務災害発生状況

(令和6年度)

区 分	計	門 司	小 倉 北	小 倉 南	若 松	八 幡 東	八 幡 西	戸 畑	洞 海 湾
計	1	0	0	0	0	0	1	0	0
災 害 現 場	1						1		
警 防 訓 練	0								
そ の 他	0								

(3) 女性消防団員の取組み

消防団の活性化を図り、地域と密着した親しみのある消防団を目指すため、昭和63年度から5か年計画で女性消防団員128人を採用しました。また、活動業務のさらなる充実を図るため、平成12年度から増員を図り、平成17年度には定員を154人としています。

【第93表】女性消防団員の現員

(令和7年4月1日現在)

所属	計	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	洞海湾
人員	135	21	15	31	15	13	21	18	1

【第94表】女性消防団員の活動実績

(令和6年度)

種別	計	研修	訓練演習	年末警戒 祭礼警戒	予防広報	いきいき安心訪問
回数	770回	170回	49回	7回	26回	518回
延べ活動人員	2622人	944人	417人	51人	174人	1036人

(4) 関係団体

【第95表】北九州市消防協会

(令和7年4月1日現在)

区 分	内 容
設 立	昭和39年7月1日
目 的	北九州市8団の緊密な連携のもと、消防団活動の円滑な運営を行うため、消防の知識・技術の向上と調査研究、消防諸施設の改善、福利厚生の実施等により、消防力の強化を図るとともに消防思想を普及し、もって市民の災厄を防除し公共の福祉の増進に寄与すること。
会 員	消防団員
名 誉 会 員	本会のため功労顕著な者及び学識経験者
賛 助 会 員	本会の趣旨を賛同し金品等を寄与した者
役 員	会長1人、副会長1人、常任理事8人（正副会長を含む） 共済委員16人（事務局長及び監事を含む）、監事2人、事務局長1人、代議員8人
経 費	北九州市補助金（協会事業費は全額補助金、共済事業費は会員会費及び補助金）